

## し尿・汚水汲み取り手数料の見直しについて

標記の件について、以下のとおり見直しを行いたいため、環境審議会へ諮問します。

### 1 見直しの理由

本市のし尿・汚水汲み取りにかかる手数料については、収集運搬費用に一定の負担割合を乗じた額とし、汲み取り実態に応じた金額を徴収しております。

しかしながら、この手数料金額については、昭和 50 年の改定を最後に長年見直しが行われておらず、物価及び人件費等の処理原価の上昇が反映されていないことから、現在の適正な処理原価との乖離が生じております。

このため、今般、手数料金額の見直しを行いたいものです。

また、現在の手数料徴収方法については、納付書での納入となっていることから、未収納金が生じる結果となっております。

このため、徴収経費・事務の削減及び未収納金発生防止を目的とし、あわせて手数料の徴収方法の見直しを行いたいものです。

### 2 見直し内容

#### (1) 手数料の見直し

##### ① し尿定額（一般家庭の汲み取り式トイレ） 【変更なし】

汲み取り人口の減少及び点在化により 1 箇所あたりの収集費用が増えており、受益者負担に基づく手数料設定が馴染まないため、現在の手数料である 1 世帯あたり 100 円及び世帯人員 1 人あたり 100 円の定額制を維持する。

##### ② し尿従量 【増 額】

###### ア 市内事業所など…120 円/36L → 400 円/50L

事業活動に伴い発生する汲み取り手数料であるため、受益者負担の原則に則り、収集費用を適正に回収できる金額に変更する。

また、36L という収集単位は、運用中のバキュームカーの計量仕様に合致していないため、50L とする。

###### イ 工事現場用仮設トイレ…120 円/36L → 3,000 円/1 基

市内事業所などの手数料算出根拠と同様の考え方を採用するが、トイレ撤去前に全量汲み取りを行うケースが多いことから収集単位を 1 基とし、一般的な容量がおよそ 350L から 400L 程度であることから、1 基あたり 3,000 円とする。

##### ③ 汚水（家庭雑排水） 【変更なし】

し尿定額と同様の考え方から、現在の手数料である 1,800L あたり 1,000 円の従量制を維持する。

## (2) 手数料徴収方法の見直し

徴収経費・事務の削減及び未収納金発生防止を目的とし、現在の納付書払い（後払い）方式から、汲み取りシール購入（先払い）方式へ変更する。

## 3 見直しにあたって改正が必要となる条例・規則

- ・海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理に関する条例（手数料関係）
- ・海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理に関する規則（徴収方法）

## 4 スケジュール

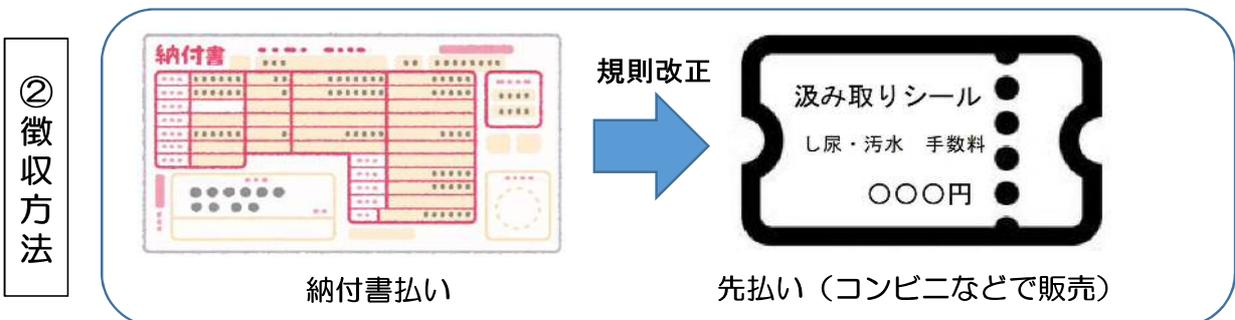
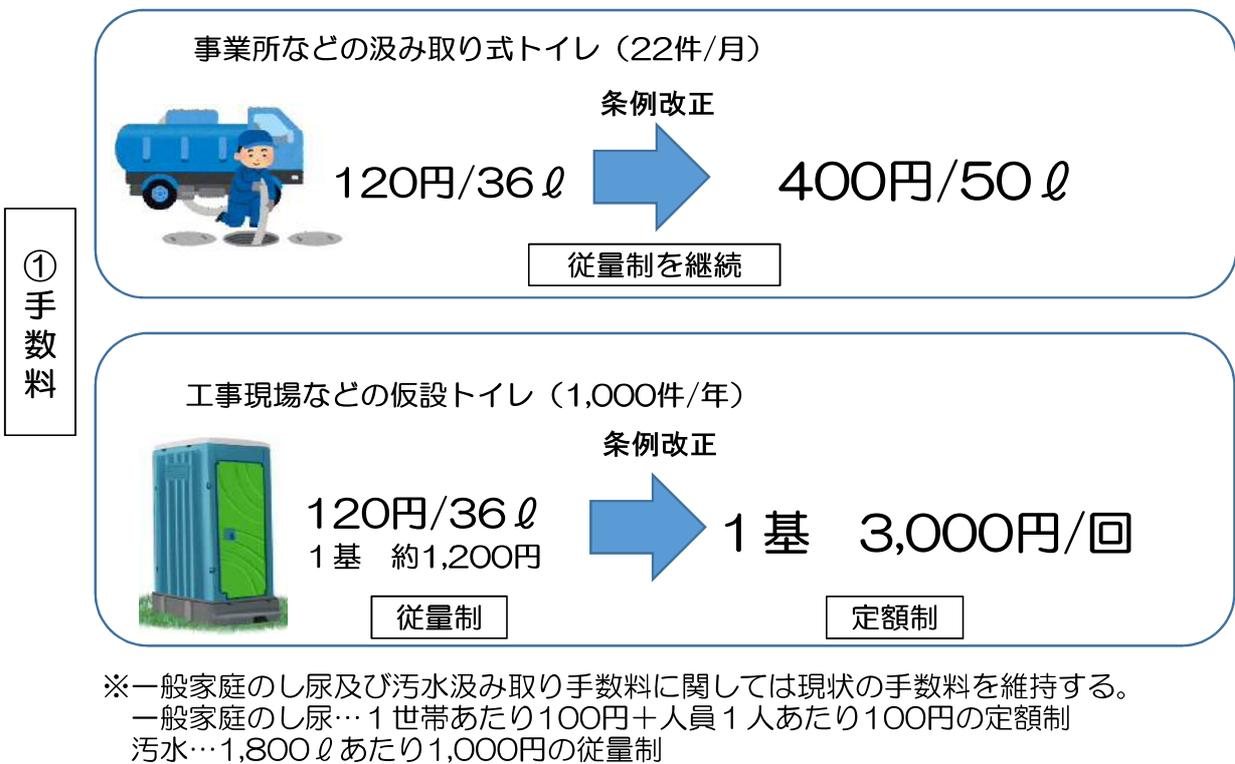
令和3年12月	条例改正案を議会上程
令和4年4月1日	条例施行

## し尿・汚水汲み取り手数料の見直し補足説明

## 課 題

- ① 手数料が昭和50年から据え置きとなっており、工事現場などの仮設トイレの手数料額を適正な金額に見直す必要が生じている。
- ② 未収納金が生じ、毎年、不能欠損額が発生している。

## 変更点



## 【徴収方法変更のメリット】

未収納金が発生せず、また、納付書発行・消込・督促・滞納整理が不要となり、事務の効率化を図ることができる。

## 参 考

手数料の算定根拠

前回改定時と同じ計算式「処理原価（収集運搬費）×算定率＝手数料」を採用

※処理原価（収集運搬費）70.546円/ℓ（令和2年度版清掃事業の概要より）

※算定率…12%（令和2年度地方交付税制度解説より）

∴70.546円/ℓ×12%÷8円/ℓ（小数点以下切り捨て）

バキュームカーの仕様に合わせ最小単位を50ℓとし、400円/50ℓに設定

県内他市との比較（海老名市の基準に換算した場合の手数料相当額）

自治体	1基	50ℓ	36ℓ	改定年度
平塚市	8,640円	1,200円	864円	令和2年
川崎市	6,000円	833円	600円	平成29年
鎌倉市	6,000円	833円	600円	平成16年
南足柄市	4,680円	650円	468円	平成23年
小田原市	3,600円	500円	360円	平成26年
横浜市	3,000円	416円	300円	平成17年
海老名市（新）	3,000円	400円	-	令和4年
厚木市	3,000円	180円	130円	-
相模原市	2,800円	388円	280円	令和2年
横須賀市	2,600円	361円	260円	-
秦野市	2,400円	333円	240円	-
藤沢市	2,310円	415円	330円	平成17年
三浦市	2,160円	300円	216円	-
大和市	2,000円	277円	200円	-
茅ヶ崎市	1,440円	200円	144円	-
伊勢原市	1,400円	194円	140円	-
座間市	1,260円	175円	126円	昭和61年
綾瀬市	1,200円	166円	120円	昭和51年
海老名市（現）	1,200円	166円	120円	昭和50年
逗子市	許可業者の価格			

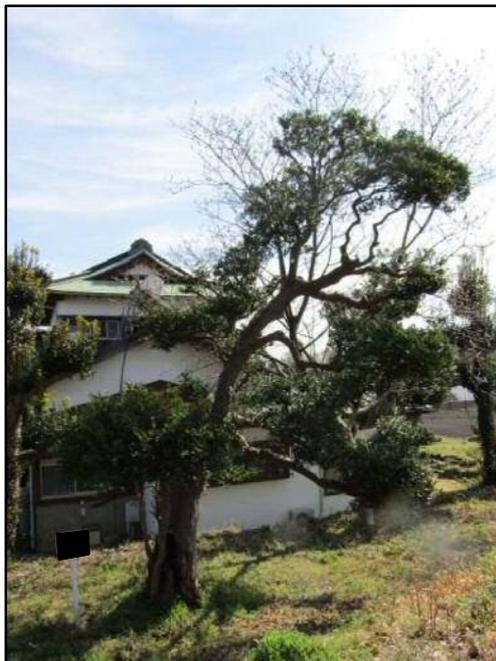
自然緑地保存樹木等 樹木解除

指定番号	申請所在地番	樹種	樹高	幹周	枝張長	枝葉面積
241	本郷2870-1	ツゲ	5m	1.9m	4.0m	12.6㎡
242	本郷2870-1	ケヤキ	10m	1.6m	6.0m	28.3㎡

【解除理由】 令和3年3月に相続をしたが管理が困難なため解除をしたい  
 ※当初指定：平成22年3月9日



【樹木No.241】



【樹木No.242】



## えびな環境白書 2020 の発行について

「えびな環境白書 2020」は、海老名環境マネジメントシステムの運用状況や同システムに基づく環境評価の実施結果、市内の公害に関する状況など、令和元年度における当市の環境に関する施策・事業の実績と環境関連のデータを以下のような構成で取りまとめたものです。

「えびな環境白書 2020」は関係機関へ配布するほか、ホームページ等により公開しております。

### I 環境関連計画

1. 海老名市環境基本計画
2. 海老名市地球温暖化対策実行計画

### II 海老名環境マネジメントシステムの概要と運用状況

1. 海老名環境マネジメントシステムとは
2. 環境基本計画の推進
3. 地球温暖化対策実行計画の推進
4. 環境法令等の順守
5. 職員への研修

### III 海老名の公害に関する報告

1. 環境行政の変遷
2. 公害に関する届出状況
3. 公害・環境に関する市民相談状況
4. 公害・環境に関する調査測定

### 資料編

令和2年度（令和元年度対象）海老名環境マネジメントシステム環境評価  
事業別調書

#### <えびな環境白書の発行時期について>

えびな環境白書は前年度の施策・事業の実績及び評価等を取りまとめて発行しています。令和元年度の取組状況については、環境マネジメントシステムに基づく環境評価を実施した上で、えびな環境白書2020として令和2年度中に発行する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、環境評価の実施に不測の時間を要したため、令和3年度中の発行となったものです。

## 海老名環境マネジメントシステム令和2年度の運用実績報告について

EMSの令和2年度の運用実績について、「海老名環境マネジメントシステム令和2年度運用実績報告書」に取りまとめました。概要は以下のとおりです。

## 1 環境評価〔環境基本計画の推進〕

- ・担当部課、内部、外部による3段階の環境評価を実施しました。
- ・結果：外部環境評価では、環境基本計画に基づく18体系中17体系について、概ね計画どおりの環境配慮がされていると評価されました。

2 CO<sub>2</sub>削減〔地球温暖化対策実行計画の推進〕

- ・本庁舎、公共施設及び公用車の使用等のCO<sub>2</sub>排出量の削減
- ・結果：目標値を達成しました。

しかし、長期間の公共施設の休館による影響も大きいと考えられるため、引き続き、ソフト・ハード両面での積極的な省エネ推進が必要です。

目標値： 11.6%削減 〔排出量〕 9,791,905 kg-CO <sub>2</sub>
--



実績値：〔達成〕 15.4%削減 〔排出量〕 9,370,554 kg-CO <sub>2</sub>
--

※基準値：11,076,816 kg-CO<sub>2</sub>（平成28年度）

## 3 リサイクル率〔地球温暖化対策実行計画の推進〕

- ・本庁舎、公共施設等から排出されるごみのリサイクルの徹底
- ・結果：8施設中6施設が目標値を達成しました。

未達成の施設については、原因究明を行うとともに、対策の検討を進める必要があります。

〔目標値〕 リサイクル率
--------------

文化会館： 93%以上
-------------

保育園（6園）： 95%以上
----------------

その他： 97.5%以上
--------------



実績： 8施設中6施設が達成
----------------

## 4 環境法令等の監査〔環境法令等の順守〕

- ・内部、外部による2回の監査を実施しました。
- ・結果：不適合事項が5件ありましたが、年度内に是正処置がされました。

前年度の不適合事項については、是正され適切に運用されていることを確認しました。



# 海老名環境マネジメントシステム

令和2年度

運用実績報告書

経済環境部 環境政策課

## 目 次

1	海老名環境マネジメントシステムについて	1
2	EMSにおける主な取組	1
3	環境基本計画の推進	2
	（1）環境評価の実施	
	（2）環境評価の結果	
	（3）外部環境評価の結果	
	（4）環境評価の総括	
4	地球温暖化対策実行計画の推進	4
	（1）省エネルギー化の推進	
	（2）ごみゼロ運動の推進	
5	環境法令の順守	6
	（1）内部環境監査	
	（2）環境法令等定期監査	
	（3）監査の総括	
6	職員への研修	7
7	令和2年度の運用総括	7

## 1 海老名環境マネジメントシステムについて

本市では、平成13年度に環境に関する国際規格のISO14001の認証を取得し、PDCAサイクルに基づく業務改善と環境負荷の軽減に努めてまいりました。認証取得後15年が経過し、市職員には環境負荷軽減に対する意識が浸透し、また、PDCAサイクルに基づき事業へ取り組む姿勢を培うことができました。

こうした中、これまでのISO14001における取組を踏まえつつ、より効率的で効果的な環境配慮活動を推進するため、市独自のマネジメントシステムである「海老名環境マネジメントシステム（EMS）」を新たに構築し、平成29年4月より運用しています。

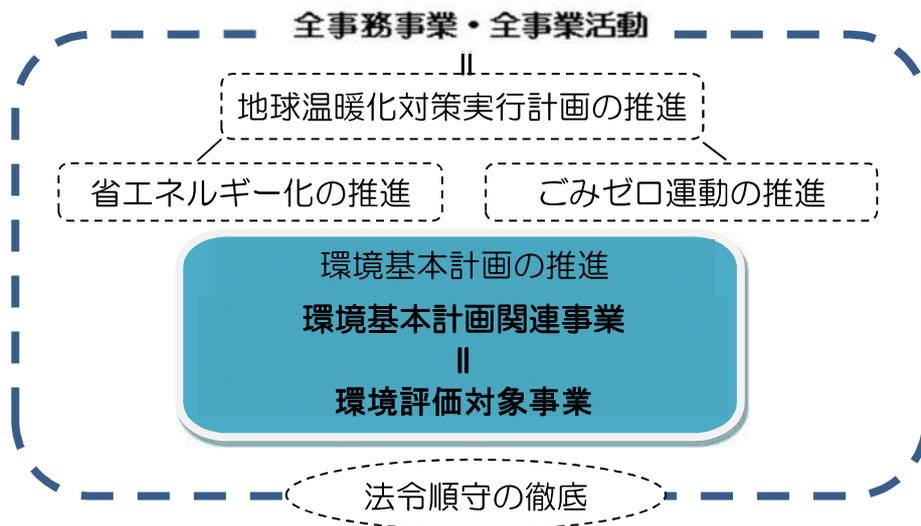
本報告書はISO14001運用時のトップマネジメントレビュー報告書に代わるものとして、庁議（最高経営会議・政策会議）に前年度の運用実績を報告します。

## 2 EMSにおける主な取組み

EMSでは、「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」と「環境法令等の順守の徹底」に向けて、以下の取組を実施しております。

- ア 環境基本計画の推進
- イ 地球温暖化対策実行計画の推進
- ウ 環境法令等の順守
- エ 職員への研修

### <EMSの体系図>



### 3 環境基本計画の推進

全ての事務事業・事業活動のうち、特に環境への影響が大きく、環境基本計画に関連する事業を環境評価対象事業と定めています。各事業の所管課では、環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境基本計画の進行管理を実施しています。各事業の推進状況は、事業を実施した翌年度に環境評価を実施し、継続的な改善に努めていきます。

#### <環境評価のイメージ>



#### (1) 環境評価の実施

令和元年度に実施された環境評価対象事業は、第二次環境基本計画の体系に基づく 18 体系 69 事業です。担当部課評価及び内部環境評価については事業ごとに、外部環境評価は体系ごとに、4 段階の基準に基づいて評価を行いました。内部環境評価及び外部環境評価は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より時期を遅らせて、評価を実施しました。

#### <環境評価の実施時期>

担当部課評価	令和 2 年 4 月
内部環境評価	令和 2 年 9 月～10 月
外部環境評価	令和 2 年 12 月～令和 3 年 3 月

#### <環境評価基準別の評価結果>

(令和元年度実施事業)

環境評価基準	担当部課 環境評価	内部 環境評価	外部 環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた	6 事業	8 事業	6 体系
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた	5 7 事業	5 4 事業	1 1 体系
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった	6 事業	7 事業	1 体系
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった	なし	なし	なし

#### (2) 外部環境評価の結果

外部環境評価では、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された体系や事業があるものの、全体としては概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。総括的な意見は次ページのとおりです。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年全ての事業を評価対象としているところ、事業を絞って評価を実施しました。

## <外部評価の総括意見>

① 目標設定
<p>目標設定について、各部署で工夫しながら設定されており、進展が見られます。大部分で目標達成ないしは、目標に向けた努力が確認できました。</p> <p>しかしながら、毎年、同じ目標を設定しているケースが散見されます。少し、視点を変えて3年後に〇〇をするために、今年××を行うという、中期と短期の考え方を入れているかがでしょうか。また、難易度にばらつきがあるのはいたし方ありませんが、達成率が大幅未達の場合や、大幅過達の場合は、来年度の目標値設定を再考してください。</p>
② 環境影響
<p>環境影響について、毎年同じ有害影響・有益影響となっていて、対策もマンネリ化しつつあるように思われます。毎年、国・県・市の方針が少しずつ変わっているため、その変化を取り入れられるように、来年度は、少し見方を変えて、有害・有益と分けずに影響を考えてみてはどうでしょうか。</p>
③ 取り組み活動
<p>活動内容について、改善や工夫が見られ、その活動をさらにEMSに結び付けることができれば、更なる発展が期待できます。一方で、活動内容や進め方がまだ十分でなく、EMSで培った手法、データの活用、分析、考え方などが有効に使われていないところが見られます。</p>
④ 全体
<p>全体として、活動に進展はみられ、EMSの定着が少しずつ進んでいると思われます。しかしながら、おざなりにEMSを進めている部署も一部にあったように思われます。また、目標値と大きな差異があった場合に、その原因の調査とその結果を次に目標とするような、いわゆるマネジメントシステムのPDCAサイクルを回す、という意識が市全体として、まだ十分でないように感じます。</p> <p>さらに、EMSの定着に結び付けられれば、市独自の環境活動の発展に進めるものと期待します。</p>

### (3) 環境評価の総括

評価結果及び外部環境評価委員による意見については、庁内に展開して、さらなる改善に努めてまいります。

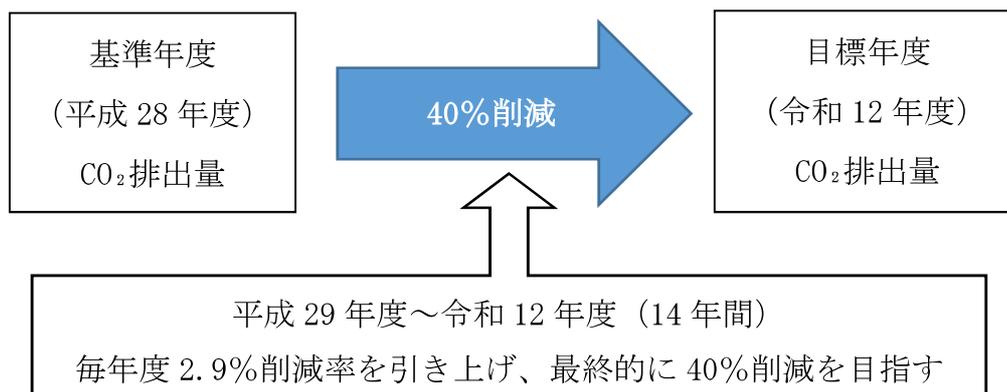
また、市の環境に関する取り組みをまとめた冊子である「えびな環境白書」に掲載して、公表することにより、市の取り組み状況を市民等について周知してまいります。

## 4 地球温暖化対策実行計画の推進

全ての事務事業・事業活動において、地球温暖化対策実行計画に関連する省エネルギー化の推進等について、各課等の報告により、日常的な環境配慮活動の実施状況を把握・管理します。

### (1) 省エネルギー化の推進

海老名市地球温暖化対策実行計画に基づき、基準年度（平成 28 年度）比 40%の二酸化炭素排出量(CO<sub>2</sub>)の削減を目指し、公共施設等における省エネルギー化を図ります。



#### ア エネルギー使用量

公共施設の運営、公用車の使用による電気、ガス、ガソリン等のエネルギー使用量を CO<sub>2</sub>排出量に換算して算出しています。

#### <令和 2 年度の CO<sub>2</sub>排出量 (単位 kg-CO<sub>2</sub>) >

年 度	CO <sub>2</sub> 排出量 (削減割合 [%])		目標との 乖離状況
	目標値	実績値	
平成 28 年度 [ 基準値 ]	—	11,076,816	—
令和 2 年度	9,791,905 (11.6%削減)	9,370,554 (15.4%削減)	-421,351
令和元年度	10,113,133 (8.7%削減)	10,390,077 (6.2%削減)	276,944

#### イ まとめと今後の対応方針

令和 2 年度の CO<sub>2</sub>排出量は、9,370,554kg-CO<sub>2</sub>となり、目標値を 3.8%下回る削減結果となりました。これは、着実な省エネの取り組みに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初から長期間にわたり一部の公共施設が休館したことにより、年間のエネルギー使用量が大きく減少したことが要因のひとつと考えられます。

今後も、結果に慢心することなく、引き続き、節電やペーパーレス化の徹底等によるソフト対策、市施設への高効率設備の導入等によるハード対策の推進が必要です。

## (2) ごみゼロ運動の推進

資源の利用を最小限に留め、また、ごみの排出量を削減し、リサイクル率を高めることで、資源の枯渇を防ぎ、温室効果ガスの吸収作用の保全に努めます。

市では、原則としてリサイクル率 97.5%以上をゼロ・エミッションと定義し、目標として取組みを進めています。

### <令和2年度対象施設のリサイクル率>

施設名称	目標値	実績値	昨年度	目標達成状況
本庁舎	97.5%	97.5%	97.2%	達成
文化会館		97.5%	95.5%	達成
こどもセンター		92.8%	82.4%	未達成
保育園（6園）		95.3%	95.3%	達成
消防署（3署）		98.2%	95.4%	達成
食の創造館		42.2%	99.9%	未達成
中央図書館		100.0%	86.6%	達成
有馬図書館		98.4%	90.7%	達成

※ なお、リサイクル率 97.5%以上を目標としているところ、保育園と文化会館は、資源化できないごみの割合が高いため、保育園は 95%以上、文化会館は 93%以上を目標としています。

#### ア まとめと今後の対応方針

今年度は、8施設中、6施設が目標とするリサイクル率を達成できました。

未達成となった施設のうち、こどもセンターは昨年度と比較して、リサイクル率の改善が進んでおり、引続き目標達成に向けた取組みが望まれます。

一方、リサイクル率が大幅に減少した食の創造館については、資源化できないごみの排出状況の調査等により原因を究明し、リサイクル率の向上に向けた対策の検討を進める必要があります。

## 5 環境法令の順守

すべての事務事業・事業活動を進める上で、関連のある環境法令等を特定、一覧化するとともに、各課等における順守状況を定期的に監査することで、環境法令等の順守を徹底します。

### (1) 内部環境監査

環境法令等を順守するための仕組みが整備され、実際に順守されているかを確認するため、内部環境監査を行いました。

監査を行う内部環境監査委員は、勤続5年以上で環境法令等に関する専門知識や業務経験を有する職員の中から任命しています。

監査実施日	令和2年10月2日～11月13日
監査対象期間	令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）
不適合事項	無し
指摘事項	1件（消防本部）

### (2) 環境法令等定期監査

環境法令等を順守するための仕組みが整備され、実際に順守されているかを判定するため、各部等ごとに環境法令等定期監査を行いました。

監査は、ISO14001審査員の資格保有者（業務委託）及び事務局で行いました。

部等名	実施日		不適合事項
市長室	令和3年	2月8日	1件
財務部	令和2年	9月14日	なし
市民協働部	〃	9月29日	1件
保健福祉部	〃	10月29日、30日	1件
経済環境部	〃	12月1日	なし
まちづくり部	〃	12月3日	なし
消防本部	〃	12月24日	2件
教育部	令和3年	2月10日	なし
監査対象期間	前回監査実施日（令和元年度中）から 監査実施日前日（令和2年度中）まで		

### (3) 監査の総括

今年度は、定期監査において不適合事項の指摘が5件ありましたが、所管課において年度内に是正処置がされました。また、昨年度に不適合事項が2件あったところ、今年度は適正に運用できていることが確認できました。

環境法令等の順守を徹底することは、環境配慮を進める上で必要不可欠であるため、不適合事項の無い順守体制の構築を目指して、引き続き環境法令の順守に向けた取り組みを推進していきます。

## 6 職員への研修

EMSに対する理解を深め、職員1人ひとりが日常業務を行う上で環境配慮を意識した行動ができるよう、必要な研修を実施しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面にて研修を実施しました。

種類	対象者	日にち	受講人数
EMSに関する研修	担当者	令和2年6月（書面）	54名
	新採用職員	令和2年4月（書面） 10月（書面）	34名
		令和3年1月（書面）	
内部環境監査委員	令和2年7月（書面）	31名	
環境法令等に関する研修	担当者	令和2年6月（書面）	54名
	内部環境監査委員	令和2年7月（書面）	31名
内部環境監査委員研修	内部環境監査委員	令和2年7月（書面）	31名

## 7 令和2年度の運用実績総括

EMSを1年間運用した結果、取組みの効率化を図りながらも、省エネルギー化の推進については着実に改善が進んでおり、法令順守状況についても重層的な監査体制により、適切な法令順守が確認される等、概ね必要な環境配慮がなされていたと考えられます。

一方で、EMSによる環境配慮をさらに進めるために、設定された目標達成に至らなかった事項については原因の分析をしっかりと行い、外部環境評価委員からの改善に向けた意見についてはその内容を精査した上で、実行可能な改善策を確実に実行していく必要があります。

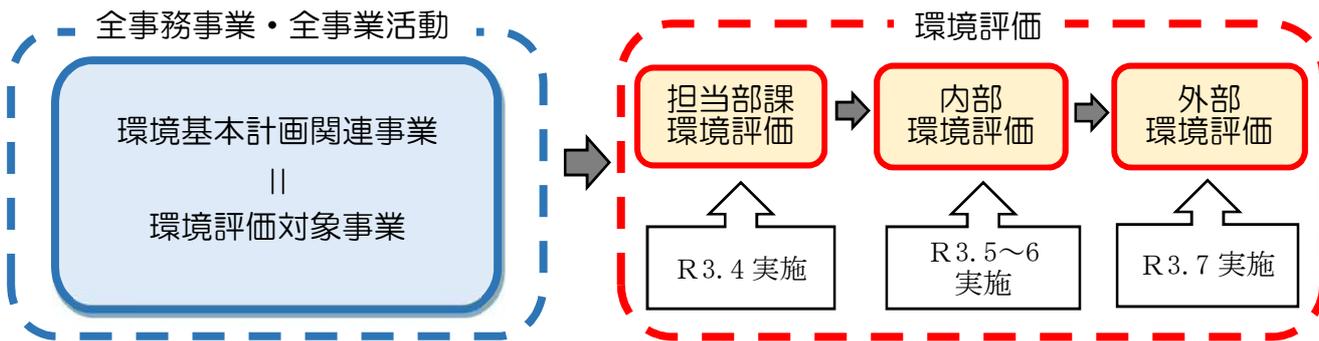
本報告内容を踏まえて、関係各課等における事務事業での環境配慮の更なる改善・向上を図ることで、EMSによる「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」の実現を目指します。

## 海老名環境マネジメントシステムにおける外部環境評価の実施結果について

海老名環境マネジメントシステムにおける取組みとして、令和2年度事業を対象に実施した環境評価の結果を別添の「環境評価結果報告書」として取りまとめましたので、概要を以下のとおり報告します。

### 1 環境評価の概要

EMSでは海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。環境評価対象事業については事業所管課において調書を作成し、事業が環境に与える負荷を最小限なものとなるよう努めています。なお、環境評価は原則として当該調書を基に実施しました。



### 2 環境評価の実施結果

環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業があり、担当部課環境評価及び内部環境評価については29の事業ごとに、外部環境評価は9つの施策ごとに、4段階の基準に基づいて評価を行いました。

環境評価基準	担当部課環境評価	内部環境評価	外部環境評価
4:計画を上回る環境配慮を実施できた。	2事業	2事業	0施策
3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	18事業	18事業	7施策
2:一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	8事業	8事業	2施策
1:ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	1事業	1事業	0施策

一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された施策や事業があるものの、全体的には、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

### 3 外部環境評価における主な意見

外部環境評価を実施する中で、海老名環境マネジメントシステム専門部会委員の皆様から多くのご意見をいただきました。体系ごとの評価を踏まえた総括的な意見の概要は次のとおりです。

#### ①取組み活動

コロナ禍の影響で中止になった取組みが多く見受けられました。その中で、工夫して取り組みを進めた活動もある一方で、やや不十分だった活動もありました。今後も、困難な中でも最善を尽くす活動が行われることを期待します。

#### ②目標設定

目標設定に関して、主にアンケートに関連した指標が実施できずとされていた点については、目標設定に苦勞した部分も伺えますが、施策の方針に掲げた目標に対して十分で有効な取組みがなされていたのかが不明確なものもありました。こうしたことは、環境管理計画・環境評価調書の中でしっかりと記載していただき、確認できるような評価のあり方、例えばフォーマットの見直し等、今後、改善がなされることを期待します。

#### ③個別指標

個別指標に関する活動については担当部課が少しずつでもレベルアップしているところが見られました。そういった中で、地道に、市民と密着した具体的な活動を是非目指して、更にそこに入り込んだ事例づくりと成果を期待します。

#### ④全体

全体をとおして、しっかりと取組まれている活動が多く見られますが、その中で、例えば異常値が出た際に、基準と照らして問題が無いから終わりとするのではなく、原因究明と改善に向けた取組みを推進するという環境マネジメントシステムを十分活用した環境活動に繋がってない部分が見受けられました。これは非常に重要なことであるため、しっかりと改善していただき、海老名市が独自で構築した環境マネジメントシステムがより誇れるものとなるよう、是非スパイラルアップしていただきたいと考えます。

### 4 今後の取扱い

評価結果及び意見については、庁内に展開して、さらなる改善に努めてまいります。

また、市の環境に関する取組みをまとめた冊子である「えびな環境白書」に掲載して、公表することにより、市の取組み状況を市民等について周知してまいります。

海老名環境マネジメントシステム  
環境評価

令和2年度実施事業  
環境評価結果報告書

令和3年10月

経済環境部 環境政策課

## 目 次

1	海老名環境マネジメントシステムについて	1
2	EMSの主な取り組み	1
3	環境評価の概要	1
4	環境評価の実施体制	2
5	環境評価の実施結果	2
6	外部環境評価の結果	3
7	環境評価結果の活用及び公表	4

海老名環境マネジメントシステム令和2年度実施事業環境評価結果

## 1 海老名環境マネジメントシステムについて

本市では、平成13年度に環境に関する国際規格のISO14001の認証を取得し、PDCAサイクルに基づく業務改善と環境負荷の軽減に努めてまいりました。認証取得後15年が経過し、市職員には環境負荷軽減に対する意識が浸透し、また、PDCAサイクルに基づき事業へ取り組む姿勢を培うことができました。

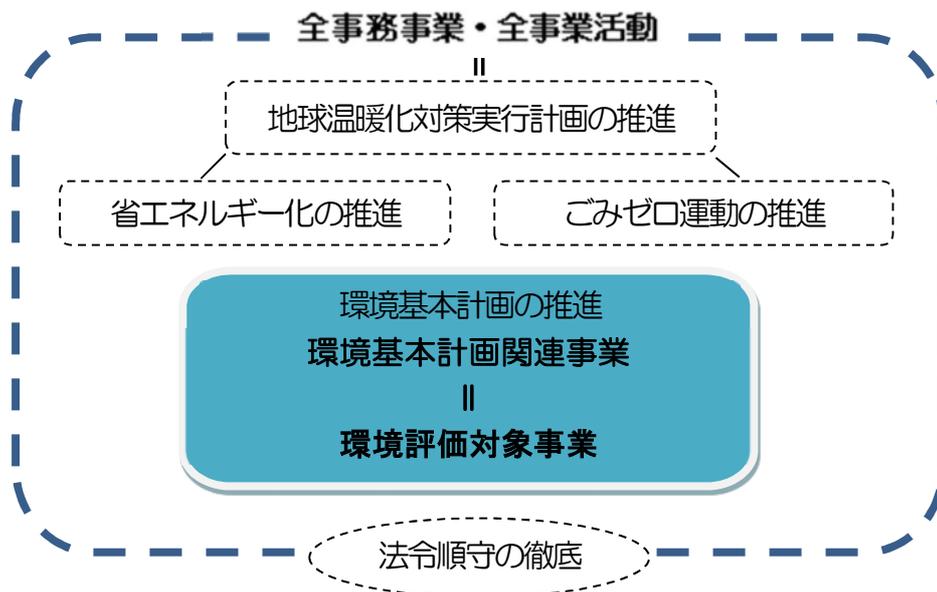
こうした中、これまでのISO14001における取組を踏まえつつ、より効率的で効果的な環境配慮活動を推進するため、市独自のマネジメントシステムである「海老名環境マネジメントシステム（EMS）」を新たに構築し、平成29年4月より運用しています。

## 2 EMSの主な取り組み

EMSでは、「全ての事務事業・事業活動における環境配慮の日常化」と「環境法令等の順守の徹底」に向けてし、以下の取組を実施しております。

- ア 環境基本計画の推進
- イ 地球温暖化対策実行計画の推進
- ウ 環境法令等の順守
- エ 職員への研修

### <EMSの体系図>



## 3 環境評価の概要

海老名市第三次環境基本計画に設定した目標指標及び個別指標の達成に向けて実施する事務事業を環境基本計画関連事業と定め、環境評価対象事業として進行管理を行っています。各事業の所管課では、環境評価対象事業について調書を作成し、その調書に基づいて環境基本計画の進行管理を実施しています。各事業の推進状況は、事業を実施した翌年度に環境評価を実施し、継続的な改善に努めていきます。

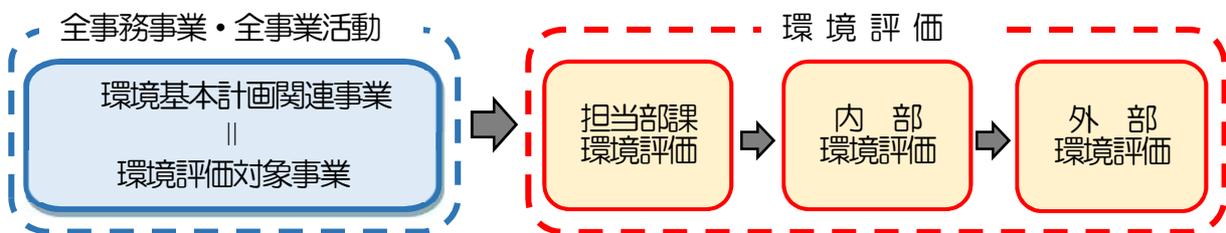
## 4 環境評価の実施体制

環境評価は、所管課による担当部課環境評価、内部環境評価委員による内部環境評価、環境審議会による外部環境評価の3段階で実施します。

### <段階別評価の概要>

① 担当部課評価	
対象	環境評価対象事業
実施概要	前年度に実施した環境評価対象事業の取り組み状況を自己評価する。
評価者	事業の所管課等
② 内部環境評価	
対象	担当部課評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	担当部課環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	内部環境評価委員（内部環境監査委員）
③ 外部環境評価	
対象	内部環境評価実施後の環境評価対象事業
実施概要	内部環境評価を受け、環境評価対象事業の取り組み状況を評価する。
評価者	外部環境評価委員（環境審議会EMS専門部会委員）

### <環境評価のイメージ>



## 5 環境評価の実施結果

令和2年度に実施された環境評価対象事業は9つの目標指標に係る施策の方針と目標指標の実現に向けた29の個別指標に係る事業です。担当部課評価及び内部環境評価については事業ごとに、外部環境評価は施策の方針ごとに、4段階の基準により評価しました。

### <環境評価の実施時期>

担当部課評価	令和3年4月
内部環境評価	令和3年5月～6月
外部環境評価	令和3年7月

<環境評価基準別の評価結果>

環境評価基準	担当部課 環境評価	内 部 環境評価	外 部 環境評価
4：計画を上回る環境配慮を実施できた	2事業	2事業	0施策
3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた	18事業	18事業	7施策
2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった	8事業	8事業	2施策
1：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった	1事業	1事業	0施策

## 6 外部環境評価の結果

外部環境評価では、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと評価された体系や事業があるものの、全体としては、概ね計画通りの環境配慮が実施できているとの評価となりました。

<外部評価の総括意見>

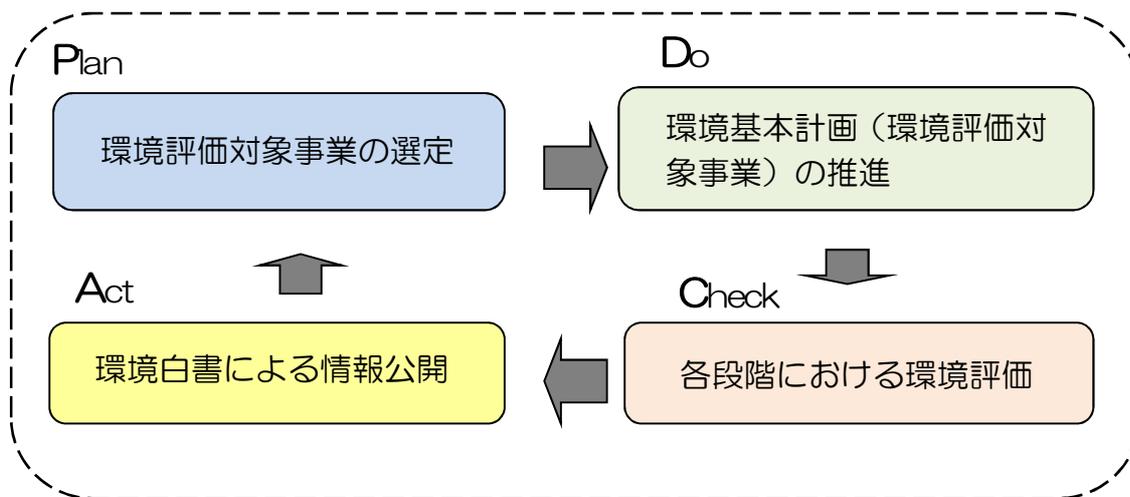
① 取組み活動
<p>コロナ禍の影響で中止になった取組みが多く見受けられました。その中で、工夫して取り組みを進めた活動もある一方で、やや不十分だった活動もありました。今後も、困難な中でも最善を尽くす活動が行われることを期待します。</p>
② 目標設定
<p>目標設定に関して、主にアンケートに関連した指標が実施できずとされていた点については、目標設定に苦労した部分も伺えますが、施策の方針に掲げた目標に対して十分に有効な取組みがなされていたのが不明確なものもありました。こうしたことは、環境管理計画・環境評価調書の中でしっかりと記載していただき、確認できるような評価のあり方、例えばフォーマットの見直し等、今後、改善がなされることを期待します。</p>
③ 個別指標
<p>個別指標に関する活動については担当部課が少しずつでもレベルアップしているところが見られました。そういった中で、地道に、市民と密着した具体的な活動を是非目指して、更にそこに入り込んだ事例づくりと成果を期待します。</p>
④ 全体
<p>全体をとおして、しっかりと取組まれている活動が多く見られますが、その中で、例えば異常値が出た際に、基準と照らして問題が無いから終わりとするのではなく、原因究明と改善に向けた取組みを推進するという環境マネジメントシステムを十分活用した環境活動に繋がっていない部分が見受けられました。これは非常に重要なことであるため、しっかりと改善していただき、海老名市が独自で構築した環境マネジメントシステムがより誇れるものとなるよう、是非スパイラルアップしていただきたいと考えます。</p>

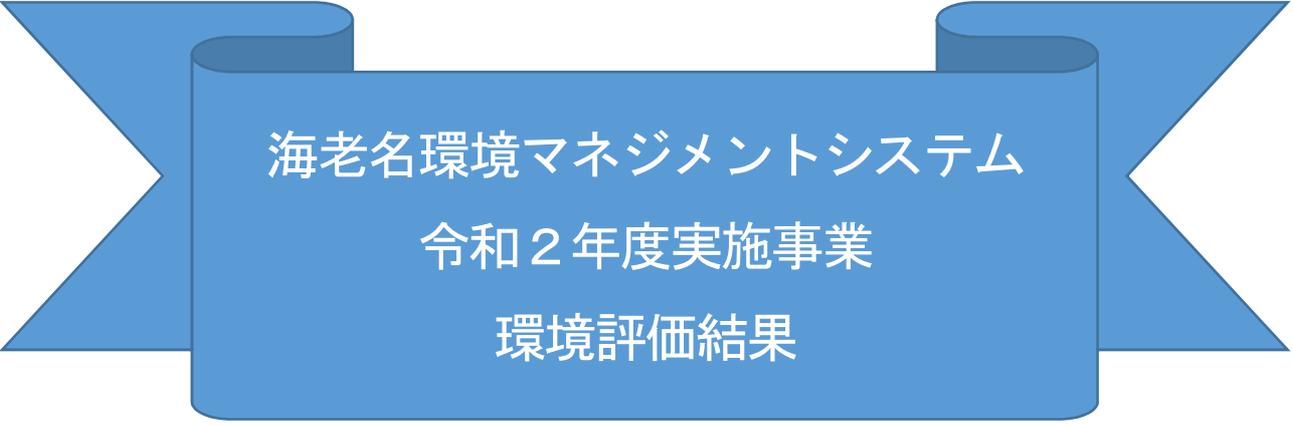
## 7 環境評価結果の活用及び公表

環境評価の結果及び意見については、市職員に展開し、事務事業の改善を促すことで、全庁的な環境配慮をさらに向上するためのツールとして活用していきます。

また、毎年、市で取りまとめている「環境白書」に環境評価結果及び意見を掲載し、ホームページ等を通じて市民に公表することで、市で行っている環境配慮活動を周知するとともに、市民の環境配慮への意識の醸成を図ります。

### <EMS環境評価のPDCAサイクル>



A blue ribbon graphic with a central rectangular panel and two side flaps that taper to points. The ribbon is a medium blue color with a slight gradient and a drop shadow effect.

海老名環境マネジメントシステム  
令和2年度実施事業  
環境評価結果



## 環境評価対象事業環境評価調書 (令和2年度実施事業)

施策	事業	ページ
1-1 地球温暖化対策を推進します	市の事務事業における温室効果ガス排出量	1~5
	個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計kw数）	
	エネファーム導入状況（補助制度累計台数）	
	低公害車の導入状況（補助制度累計台数）	
1-2 循環型社会を形成します	リサイクル率	6~10
	事業系ごみ排出量	
	市庁舎におけるごみ排出量	
	生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）	
1-3 緑・水・生きものと共生します	自然緑地保全区域面積・樹木数	11~14
	緑化に関する情報の発信回数	
	生物多様性に関する情報の発信回数	
2-1 水環境を守ります	水洗化率	15~18
	公共下水道の普及率	
	水循環に関する情報の発信回数	
2-2 生活環境を守ります	大気質環境基準達成状況	19~22
	コミュニティバス利用者数	
	騒音に関する相談件数	
3-1 都市環境を整備します	道路整備への満足度（市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合）	23~26
	美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	
	えびなクリーン作戦参加者累計数	
3-2 農業地を守ります	農作業受委託面積	27~30
	市民農園利用者数	
	農業体験イベント参加者数	
3-3 地域資源を守ります	郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	31~33
	歴史関連イベント・講座参加者数	
4-1 環境を考え、行動します	環境関連情報発信回数	34~38
	啓発・出前講座参加者数	
	海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	
	海老名市地域緑化事業への登録団体数	

令和2年度事業外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		1 地球温暖化対策を推進します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
市域からの温室効果ガス排出量		935千t-CO2	
1,055千t-CO2 (平成28年度)	794千t-CO2 (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
市の事務事業における温室効果ガス排出量	2	2	市の事務事業からの削減による寄与だけでなく、削減状況を環境白書等を通じて公表することで市全体の削減意識の向上に寄与できました。
個人住宅用太陽光発電導入状況	3	3	個別指標の目標には達していませんが、太陽光発電設備の普及により目標達成に寄与出来ていると考えます。
エネファーム導入状況	2	2	個別指標の目標には達していませんが、エネファームの普及により目標達成に寄与出来ていると考えます。
低公害車の導入状況	2	2	個別指標の目標には達していませんが、低公害車の普及により目標達成に寄与出来ていると考えます。
外部評価			
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。		
判断理由及び評価内容			
<p>個別指標での努力は示されていますが、施策の方針の実績に繋がっていないように見受けられます。  「温室効果ガス排出量」で、コロナ禍であることを考慮しても省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進活動の効果を示すことが必要です。  また、市の事務事業により排出される「温室効果ガス排出量」の公表については、法令に基づいて適切に対応するよう留意してください。  「エネファーム導入」や「低公害車導入」については、EMSの考え方に沿った要因分析や活動展開ができるよう改善していただくようお願いします。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 - 1 - a
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市の事務事業における温室効果ガス排出量			11,077t-CO2 (H28/2016)	6,900t-CO2	( R11/2029 )
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します			
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額
海老名市地球温暖化対策実行計画に基づいて、公共施設への省エネ性能の高い設備の導入や運用改善の推進を図るとともに、施設管理者や利用者の省エネ意識啓発に取組みます。			9,792t-CO2 (1,285t-CO2削減)		- 千円
			進捗率： 70.4%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・ 地球温暖化の抑制			・ 省エネ工事による廃棄物の増加		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・ 温室効果ガス削減に関する相談			・ 省エネの情報収集及び提供		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムに基づく職員研修や環境配慮取組状況の確認等を通じて省エネに対する意識向上に努めました。</li> <li>公共施設におけるエネルギー使用量の削減や環境配慮活動の呼びかけを行うと同時に、取組状況の把握に努めました。</li> </ul>			9,371t-CO2 (1,706t-CO2削減)	
				進捗率：73.6%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	令和2年3月に改定した地球温暖化対策実行計画を踏まえて、さらなる温室効果ガスの削減を呼びかけました。				
課題等	市の事務事業による温室効果ガス排出量が、コロナ禍によりどの程度影響を受けているのか判別できないため、市の取組みがどの程度排出量削減に繋がったか見極めが困難です。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	市の取組みによる温室効果ガス削減もある程度効果が出ていると思われませんが、コロナ禍の影響を受けての進捗度であることから、一部計画どおりの環境配慮が出来なかったと判断します。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課の評価にもありますが、コロナによる施設の臨時休館等がなかったら、目標達成できたかどうか疑問です。公共施設の休館等がなくても、今回以上の排出削減となるよう、今後の取組に期待します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 - 1 - b
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
個人住宅用太陽光発電導入状況（補助制度累計kw数）			8,649kw (H30/2018)	13,000kw (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します			
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内に太陽光発電施設を設置した方に対し、経費の一部を発電能力に応じて補助。			9756kw		12000 千円
			進捗率： 25%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び事業者における省エネの推進</li> <li>市域のエネルギー使用量削減</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ設備導入工事による廃棄物の増加</li> </ul>		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容に関する意見・要望</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容の見直し</li> </ul>		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値進捗実績
令和2年度	太陽光発電施設への補助実績				9588kw
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 77件</li> <li>補助額 8,332,000円</li> <li>総出力 431.19kW (R1 503.90kW)</li> </ul>				進捗率：21.5%
	取組実績				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>開発事業者への事前の要望</li> <li>前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施</li> </ul>				
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	前年度申請者に対するアンケート内容を見直しました。また、周知効率を上げるため、過去の申請実績に基づき、パンフレット・ポスターの送付先を変更しました。				
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大により環境イベントでの周知が出来ず、周知機会が十分に得られませんでした。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベント等の周知が十分に行えなかったが、補助実績は一定数あったため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと判断します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	イベント等での周知が十分行えない中、概ね目標達成ができたのは、パンフレット・ポスターの送付先変更の効果があった可能性があり、今後もさらに推進できるよう周知法の改善等研究を重ねられることを期待します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 - 1 - c
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
エネファーム導入状況（補助制度累計台数）			210台（H30/2018）	430台	（R11/2029）
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します			
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への進捗見込		予算額	
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内にエネファームを設置した方に対し、経費の一部を補助。		264台		1800 千円	
		進捗率： 24.5%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び事業者における省エネの推進</li> <li>市域のエネルギー使用量削減</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ設備導入工事による廃棄物の増加</li> </ul>		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容に関する意見・要望</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容の見直し</li> </ul>		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	エネファームへの補助実績			249台	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 15件</li> <li>補助額 900,000円</li> </ul>				
	取組実績			進捗率：17.7%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅間自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>開発事業者への事前の要望</li> <li>前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施</li> </ul>				
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	前年度申請者に対するアンケート内容を見直しました。対象機器の基準の見直しを行いました。				
課題等	国がエネファームの導入支援制度を令和2年度をもって終了しました。今後市としても当該施設導入の補助金について検討が必要であると考えます。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大の関係で、周知の機会が十分に得られなかったこと及び経済状況の悪化の中でエネファームの補助実績が伸びなかったため、計画通りの環境配慮を実施できなかったと判断します。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍において、実施できなかった点は、可能な限り見直し等を行っていただき、今後の事業の実施を期待します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	1	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	環境共生係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
低公害車の導入状況（補助制度累計台数）				170台（H30/2018）	500台（R11/2029）				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-1 地球温暖化対策を推進します							
	関連する目標指標	市域からの温室効果ガス排出量							
令和2年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への進捗見込			予算額		
市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、海老名市内で、新規に対象の低公害車を導入された方に対し、費用の一部を補助。				231台			6800 千円		
				進捗率： 16.3%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和2年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民及び事業者における省エネの推進</li> <li>市域のエネルギー使用量削減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>低公害車の製造による廃棄物の増加</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容に関する意見・要望</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>補助内容の見直し</li> </ul>				
令和2年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値進捗実績	
令和2年度	低公害車への補助実績							209台	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 17件（電気自動車15件、燃料電池自動車2件）</li> <li>補助額 3,050,000円</li> </ul>								
令和2年度	取組実績							進捗率：11.8%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅展示場等の関係機関へポスター、パンフレットを配布</li> <li>駅前自由通路にデジタルポスターを掲載</li> <li>前年度補助金申請者に対し、アンケート調査を実施</li> </ul>								
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	前年度申請者に対するアンケート内容を見直しました。新型車種の発売に伴い、周知先を拡大しました。								
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大の関係で、イベント等での低公害車の展示が中止となり、周知の機会が十分に得られなかったため、周知方法の検討が必要と考えます。								
令和2年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大の関係で、周知の機会が十分に得られなかったこと及び経済状況の悪化で低公害車の補助実績が伸びなかったため、計画通りの環境配慮を実施できなかったと判断します。							
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	補助実績が目標達成に至りませんでした。目標に至らなかったと判断した理由及び内容を的確に分析していると考えます。新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、可能な周知方法等を検討し、海老名市内で低公害車の導入が進むことを期待します。							

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		2 循環型社会を形成します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
一人1日あたりごみ排出量(家庭系の可燃・資源)		584g	
650g (平成28年度)	650g (令和9年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
リサイクル率	3	3	燃やせるごみに混入している資源物を資源化するなど、リサイクルを促進することでごみの排出を抑制すると考えます。
事業系ごみ排出量	3	3	家庭系ごみと共に事業系ごみについても減少させることで、市全体のごみ減少を促進することができると考えます。
市庁舎におけるごみ排出量	3	3	採用後間を置かず市庁舎のごみゼロについて研修を受けることで意識を高め、ごみの減量化に繋がった。
生ごみ処理機の普及率(補助制度実績)	3	3	家庭系可燃ごみに含まれる生ごみの排出量を抑制する生ごみ処理機を復旧させることで、ごみの排出量を抑制すると考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>「一人1日あたりごみ排出量」については、既に目標を達成していることから内部的に新たな目標を設定してはいかがでしょうか。</p> <p>「リサイクル率」については、調書に記載されている内容以外にも様々な取組みが進められていることが分かったため、引き続き推進していただきたいです。</p> <p>「事業系ごみ排出量」については、訪問指導、パンフレット改訂では、削減効果に限界があると思われるため、事業系ごみ処理手数料の見直し等、更なる取組みが行われることを期待します。</p> <p>全体として、目標達成に向けて取り組んだ内容は、評価を適切に行うため、調書に幅広く記載されることが望まれます。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 — 2 — a	
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	資源循環係	
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)		
リサイクル率			31.4% (H28/2016)	40% (R9/2027)		
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます				
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します				
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
分別徹底の周知、持ち去り行為防止のパトロールなど			39.50%		33,970 千円	
			進捗率：98.8%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物の運搬・処理にかかるエネルギーの使用</li> </ul>			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>分別に関する問い合わせ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>分別に関する情報提供</li> </ul>			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	広報の特集号における記事掲載、分別ガイドの一部修正などにより、市民による適正な分別排出を促した。				33.20%	
					進捗率：83%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	近年ペットボトルやプラスチック自体の軽量化が進み、資源物の重量が減少傾向にあり、リサイクル率を今以上に向上させるためには、新規のリサイクル方法を取り入れるなどの方策が必要となってきた。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	資源物の軽量化という全国的な情勢により、リサイクル率が伸び悩みを見せているが、取り組みについては概ね計画通りに進めたと考える。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。継続的な取り組みと新規方策の検討・実施によるリサイクル率の向上に期待します。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	b
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	資源循環係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
事業系ごみ排出量				8,336t (H28/2016)	5,145 t (R9/2027)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）							
令和2年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への進捗見込			予算額		
多量排出事業所への訪問指導、一般廃棄物収集運搬業許可業者向けの講習会の開催				5,391t			— 千円		
				進捗率：95.4%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和2年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系ごみ処理に関する問い合わせ</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>処理に関する情報提供</li> </ul>				
令和2年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値進捗実績	
令和2年度	多量排出事業所への訪問指導実施（30社） 事業者向けのパンフレットの改訂（9月）							7,749t	
								進捗率：66.4%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	事業者向けパンフレットの改訂を行い、多量排出事業者訪問の際に事業者に配布することで指導の効果を高める試みを行った。								
課題等	事業系ごみ減量化に当たっては、各事業所の状況把握としての訪問指導が重要ではあるが、事業所ごとに排出されるごみの種類が異なることもあり、統一的なごみの減量施策が困難であると感じている。								
令和2年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	前年度と比較し事業系ごみが大幅に減量しており、この状況を維持できるよう、引き続き取り組んでいきたい。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。継続的な取り組みにより、さらなる事業系ごみの排出量の減量に期待します。							

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	c
担当部	財務部	担当課	管財課（財産・車両課）	担当係	管財係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
市庁舎におけるごみ排出量				1512.710kg (H30/2018)	1361.439kg (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）							
令和2年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への進捗見込			予算額		
市庁舎ごみゼロ研修の開催（新採用職員向け）年1回				1719.82kg			0 千円		
				進捗率：前年度比1%減					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和2年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>集積場所の環境状況への苦情</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な収集及び美化清掃</li> </ul>				
令和2年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値進捗実績	
以下の取組みを通じて廃棄物の削減、再資源化の推進を図り、環境に配慮した持続可能な施設運営に努めました。 ・市庁舎ごみゼロ研修の開催（新採用職員向け）を年2回実施 ・庁内から排出されるごみについては、引き続き分別を徹底し、可能な限りの資源化を図りました（資源化率98.2%）。								1450.72kg	
								進捗率：93.8%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	新採用研修を4月のみでなく10月にも実施することになり、実施回数が増えました。								
課題等	研修は新採用職員向けであるため、継続的に取り組む必要があります。								
令和2年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	庁舎から排出される排出物の減量化、分別徹底により資源化率を維持することができたため、概ね計画通りの環境配慮が実施できたと評価します。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。全庁的にイベント自粛や登庁者・来庁者減による排出減の影響も少なからずあったと思いますが、引き続き研修等でのPRを期待します。							

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	2	—	d
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	資源循環係				
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)				
生ごみ処理機の普及率（補助制度実績）				8.9% (H28/2016)	10% (R11/2029)				
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-2 循環型社会を形成します							
	関連する目標指標	一人1日あたりごみ排出量（家庭系の可燃・資源）							
令和2年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への進捗見込			予算額		
生ごみ処理機設置費補助制度				10%			5,201 千円		
				進捗率：100%					
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和2年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化</li> <li>ごみ処理施設の負担軽減</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣への悪臭の発生</li> </ul>				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>処理機の使用に伴う苦情</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な使用方法の伝達</li> </ul>				
令和2年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値進捗実績	
令和2年度	広報や自治会回覧での周知のほか、市役所1階での展示会、駅前の三井住友銀行展示スペースでの展示などの取組を行った。							10% (処理機累計基数/R2.4.1世帯数)	
								進捗率：100%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	新型コロナウイルス感染症拡大の関係で、一部の展示会の実施を控えた。								
課題等	令和元年9月30日から実施しているごみの一部有料化・戸別収集により生ごみ処理機の関心が非常に高まり、ごみの減量化が根付いてきている。補助金復旧状況も目標を達成し、ある程度安定してきているので、啓発の方法を再検討する必要があると考える。								
令和2年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	目標値に達成した。 新型コロナウイルス感染症拡大により、啓発の機会が減ったにもかかわらず、申請数が多かった。							
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 継続的な周知・啓発に取り組むことにより、さらなる補助制度の利用増加に期待します。							

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます		3 緑・水・生きものと共生します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))	— (実施せず)	
48.2% (平成30年度)	50.0% (令和11年度)		
生き物とのふれあいに対する意識(環境アンケート:地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)			
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
自然緑地保全区域面積・樹木数	3	3	個別指標の目標には達していませんが、緑地や樹木の適正な維持管理に寄与出来ていると考えます。
緑化に関する情報の発信回数	2	2	コロナ禍による事業の休止により情報発信を行えなかった。
生物多様性に関する情報の発信回数	2	2	個別指標の目標は達成できていませんが、情報発信を通じて、生物の多様なあり方への関心の情勢に寄与できました。
外部評価			
2	一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。		
判断理由及び評価内容			
<p>新型コロナウイルスの影響が大きく、計画に対して未遂でしたが、全体的にはコロナ禍の中、それぞれの項目で工夫を凝らして活動されていることを評価できます。</p> <p>ただし、コロナ禍を踏まえて、今後はWebを使った双方向コミュニケーションなどの活用など、コロナによる影響を考慮した取組みを検討すべきだと考えます。</p> <p>補助金の交付においても、リアルに実施するものに交付するだけでなく、仕組づくり(啓蒙資料作成、Webの仕組づくりなど)に対する支援制度も検討していただきたいです。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 - 3 - a	
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課（都市施設公園課）		担当係	総務係
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
自然緑地保全区域面積・樹木数				150626.16㎡/193本 (R1/2019)	150000.00㎡ /193本 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます				
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します				
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要				目標値への進捗見込	予算額	
多様な機能を有する緑の保全のため、自然緑地保全区域・自然緑地保存樹木を指定し、奨励金の交付を実施				149,983.16㎡/190	7,238 千円	
				進捗率： 99.9 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の保護</li> <li>温室効果ガス吸収作用の保全創造</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の日照時間の減少</li> <li>落葉等のゴミの増加</li> </ul>			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木からの落葉による苦情</li> <li>樹木を剪定伐採したことによる景観上の苦情</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境と景観に配慮した管理方法の周知</li> </ul>			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	自然緑地保全区域等所有者に対する交付実績 ・自然緑地保全区域 97件 5,422,865円 ・自然緑地保存樹木 179件 714,000円 ・保存生垣 34件 235,600円				143,979.36/150,000	
					186/193本	
					進捗率： 96 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	所有者の高齢化、またコロナ禍であることを考慮し、申請書類の提出用に返送用封筒を使用した。					
課題等	指定している区域や樹木について枯損木が多数発生しており、かつ所有者が高齢化していることから、維持管理が困難になっている。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	区域・樹木の新規指定や指定解除は所有者の意向があるため、計画通り進めることは困難であるが、目標値に対し概ね実行できた。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍における事務の変更は評価すべきと考えます。引き続き所有者との調整に尽力していただきたい。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1	—	3	—	b
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課（都市施設公園課）		担当係	総務係			
個別指標の内容				現状値(年度)		目標値(目標年度)			
緑化に関する情報の発信回数				2回 (R1/2019)		3回 (R11/2029)			
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます							
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します							
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識（環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合）							
令和2年度事務事業 環境管理計画									
主な取組の概要				目標値への進捗見込			予算額		
花と緑の写真コンクール、緑化ポスターコンクール、さつき展等の事業に関する情報を広報等に掲載				—			0 千円		
前年度事務事業の実施により発見した課題等									
令和2年度事務事業に係る環境影響									
有益影響					有害影響				
・緑を保全・育成する意識の向上					—				
想定されるコミュニケーション					コミュニケーションへの対応				
・緑化手法に関する問い合わせ					・適切な緑化手法の周知 ・緑化に係る補助制度の情報提供				
令和2年度事務事業 実施結果									
主な取組結果の概要								目標値進捗実績	
令和2年度	例年、小中学生に対して夏休みの宿題として「花と緑の写真コンクール」及び「緑化ポスターコンクール」を行っていたが、コロナ禍であったため実施をしなかった。さつき展等のイベントにおいてはコロナ禍であるため開催を見送った。							—	
								進捗率： — %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等									
変更点	花と緑の写真コンクールは、同様の事業をシティプロモーション課で行っているため、令和3年度より当課では実施しないこととする。								
課題等	今後、コロナ対策をした上でのイベントの開催等について検討が必要である。								
令和2年度事務事業 環境評価									
評価区分	評価	判断理由及び内容							
担当部課 環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	コロナ禍であり、当初予定していた緑化に関するイベントやコンクールを実施することが出来なかったため。							
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍において、実施できなかった点は、今後見直し等の検討を期待します。							

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	1 - 3 - c
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
生物多様性に関する情報の発信回数			3回 (R1/2019)	6回	( R11/2029 )
計画体系上の位置付け	基本方針	1 地球にやさしい社会の実現に向けて取り組みます			
	施策の方針	1-3 緑・水・生きものと共生します			
	関連する目標指標	生き物とのふれあいに対する意識 (環境アンケート：地域の生きものとのふれあいについて良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への進捗見込		予算額	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページによる情報の発信</li> <li>窓口でのチラシの配架</li> </ul>		4回		0 千円	
		進捗率： 33 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性を保全する意識の向上</li> </ul>			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の保全手法に関する問い合わせ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な生物多様性の保全手法の周知</li> </ul>		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定外来生物（ヒアリ・セアカゴケグモ・オオキンケイギク）に関する周知をホームページで実施しました。</li> <li>市内の生物調査の実施に向けた調査研究を行いました。</li> </ul>			年3回	
				進捗率： 0 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	令和3年度における生き物調査の実施に向けて他市の事例等の調査研究に努めました。				
課題等	生物多様性の周知にあたっては、市内における動植物の生息状況の把握が必要不可欠です。こうした課題の解決に向けて、令和3年度では市内での生き物調査の実施により、生息情報の蓄積に努めていきます。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	ホームページでの周知や、次年度に向けた研究は実施したものの、窓口配架用のチラシ作成はできなかったため、一部計画どおり実施できなかったと評価します。			
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。窓口配架用のチラシ作成に向けて取り組みを継続されることを期待します。			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		1 水環境を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
河川水質環境基準達成状況		問題なし	
問題なし (平成30年度)	問題なし (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
水洗化率	2	2	微量ながら増となっているため目標達成に寄与出来ていると考えます。
公共下水道の普及率	4	4	目標値を大幅に達成できたため、寄与出来ていると考えます。
水循環に関する情報の発信回数	3	3	水環境の情報発信を通じて、市民や事業者の河川水質の維持向上への関心を高められました。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>全体的には個別の指標で上下がありますが、水環境を守る施策の方針の維持が見られます。</p> <p>「水洗化率」については、公共下水道への接続に向けた広報や指導がどのように行われたのか、実施した結果に対して、接続人口が増えなかったことの原因究明や改善方策の検討がどのようになされたのかをしっかりと示していただきたいです。</p> <p>「公共下水道の普及率」についても、市民への丁寧な説明が行えなかったのに工事進捗が想定より良かったことの分析をしっかりと行うことが及び、それを今後の活動に取り込んでいくことが重要です。</p> <p>全般的に、異常時における原因究明と改善処置は、環境マネジメントシステムにおける基本的な対応であることから、意識をもって取り組んでいただくことが必要であると考えます。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 - 1 - a	
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	業務係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
水洗化率				98.2% (H30/2018)	100% (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します				
	施策の方針	2-1 水環境を守ります				
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な水洗化手法の周知</li> <li>水洗化に係る補助制度の情報提供</li> </ul>			0.1%		3,775 千円	
			進捗率：98.3%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>水質保全</li> <li>生活環境の改善</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化工事による廃棄物の増加</li> </ul>			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化手続に関する問い合わせ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な水洗化手法の周知</li> <li>水洗化に係る補助制度の情報提供</li> </ul>			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	○水洗便所改造等助成金の交付				0.00%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数 36件</li> <li>助成金 1,080,000円 (一人あたり30,000円)</li> </ul>					
	○取組実績				進捗率：98.2%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットの配布</li> <li>ホームページへ掲載</li> </ul>					
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化に対する助成制度として、金融機関と連携して水洗便所改造等貸付あっ旋事業を展開しているが、平成18年度より貸付実績がなく、当該事業の見直しを検討していく必要があります。</li> <li>進捗率について、端数処理の関係で0.0%となってしまうが、実際には微量ながら増加傾向にある。海老名市は処理区域内人口が増加傾向にあるため、水洗化率は鈍化しやすい状況にあるが、今後も鋭意整備を進める必要がある。</li> </ul>					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	広報等による周知を通じて一定の助成制度の利用はあったが、進捗見込みに至らなかったため、一部計画通り実施できなかったと判断します。				
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。見込どおりの進捗実績を上げられるよう、今後の事業見直し等の検討を期待します。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 - 1 - b
担当部	まちづくり部	担当課	下水道課	担当係	工事係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
公共下水道の普及率			95.9% (H30/2018)	100% (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-1 水環境を守ります			
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への進捗見込	予算額	
・迅速な工事の実施			0.2%	457,238 千円	
			進捗率：96.1%		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>水質保全</li> <li>生活環境の改善</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道工事による廃棄物の増加</li> </ul>		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道工事に関する苦情</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な工事の実施</li> <li>工事内容の丁寧な説明</li> </ul>		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組実績</li> <li>市街化区域の公共下水道污水管渠の埋設工事</li> <li>市街化調整区域の公共下水道污水管渠の埋設工事</li> <li>公共下水道污水柵設置の申し出に基づく、設置工事</li> <li>公共下水道污水管渠整備を実施するための詳細設計委託</li> </ul>			0.30%	
				進捗率：96.2%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	特になし。				
課題等	進捗見込を上回る進捗実績が上がっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事説明会が中止になったため、市民への丁寧な説明は行えなかった。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症による影響はあったが、埋設工事の着実な実施により、普及率を見込み以上に上げることができたため、計画を上回る環境配慮が実施できたと判断します。			
内部環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍において進捗見込を上回る進捗実績を上げた点は評価できます。引き続き事業の進捗を期待します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 - 1 - c	
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	環境共生係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
水循環に関する情報の発信回数				1回 (R1/2019)	3回 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します				
	施策の方針	2-1 水環境を守ります				
	関連する目標指標	河川水質環境基準達成状況				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
河川の水質調査結果について、広報えびな等にて情報発信			2回		1,066 千円	
			進捗率： 50 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・水環境の保全意識の向上			-			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・水環境の保全手法に関する問い合わせ			・適切な水環境の保全手法の周知			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の水質調査結果を広報えびなに掲載し、市内の水質状況の周知を図りました。</li> <li>・市が参加している「高座地区河川をきれいにする会」の会報誌に市内河川の水質状況を掲載し周知を図りました。</li> </ul>				2回	
					進捗率： 50 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	市内の水環境と親しむためのイベントとして、神奈川県が主催する「みずきフェスタ」と連携した取組について検討しました（イベントがコロナウイルスの影響により中止となったため、取組み自体は未実施）。					
課題等	市内の水環境のさらなる周知を図るためには、河川ごとの特性を十分に理解することが重要であるため、今後はこうした情報の習得整理に努める必要があります。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	県と連携したイベントは実施できませんでしたが、広報えびな等による周知を実施できたため、概ね計画どおりの環境配慮が実施できたと評価します。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価を支持します。河川の水質改善に向けたさらなる取り組みを期待します。				

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します		2 生活環境を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))		
公害・環境に関する相談件数		87件	
64件 (平成30年度)	50件 (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
大気環境基準達成状況	3	3	環境基準達成を維持することで目標指標の達成に寄与出来ていると考えます。
コミュニティバス利用者数	3	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値は下回りましたが、事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮に寄与したと考えます。
騒音に関する相談件数	3	3	コロナ禍の影響で相談件数は増えましたが、適切に対処することで、目標指標の達成に寄与出来たものと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>全般的に、測定結果を継続的に管理し、変動状況を把握した上で見通しを立てて対策を講じることは必須事項であり、直ちに実施していただく必要があると考えます。</p> <p>「大気環境基準達成状況」については、窒素酸化物は令和元年度の最大値35、令和2年度最大値43と環境基準値の60に近づいており、今後の見通しも含めてしっかりと監視することが必要です。</p> <p>「コミュニティバス利用者数」、「騒音に対する相談」については適切に取組みが行われていると考えられるため、引き続き推進されることを期待します。</p>			

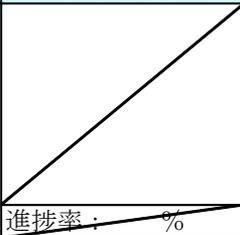
令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	2 - 2 - a	
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	環境共生係	
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)		
大気環境基準達成状況			達成 (H30/2018)	達成 (R11/2029)		
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します				
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります				
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要		目標値への進捗見込			予算額	
市内21箇所で実施している窒素酸化物簡易測定調査		基準値達成			630 千円	
		進捗率： - %				
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・生活環境の保全			-			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・空気汚染に関する公害苦情			・迅速な現場対応 ・環境基準等の丁寧な説明			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査を行いました。</li> <li>・大気汚染（屋外燃焼行為等）による悪臭等の苦情・相談に対し、原因者への指導を実施しました（発生件数37件）。</li> <li>・光化学スモッグの発生に備えて、発生時の情報伝達訓練を実施しました（発生件数0件）。</li> </ul>				基準値達成	
					進捗率： - %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	光化学スモッグ発生時に円滑に対応できるように、注意報発令時の連絡体制の周知徹底を図りました。					
課題等	これまで単発的に測定結果を管理していましたが、今後は継続的にデータ記入を行い、数値の変動を記録し管理していくことを検討していきたいと考えます。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	市内21箇所で窒素酸化物簡易測定調査を行いました。また、大気汚染等に対する苦情相談を受け、迅速な現場対応及び指導を行い概ね計画通りの環境配慮を実施できました。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。適切に測定調査が行われていることを評価します。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調書				事業コード	2 - 2 - b
担当部	まちづくり部	担当課	都市計画課	担当係	交通政策係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
コミュニティバス利用者数			257,237人 (H30/2018)	259,150人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への進捗見込		予算額	
公共交通不便地域に対してコミュニティバスを運行する。また、利用状況等を市HPや車内等において周知を図る。		253,723人 進捗率： 97.9%		59,291 千円	
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・自動車からの利用転換による排気ガスの抑制			・排気ガスの排出 ・ガソリンの使用		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・コミュニティバスの運行状況に関する問い合わせ・苦情			・適切な運行状況の説明		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	温室効果ガスの削減を目標に、コミュニティバスの利用促進に繋がる情報発信等に努めました。			175,266人	
	○ 市HP等情報発信回数：12回			進捗率：67.6%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	国分ルート「杉本南」停留所を隣地者からの要望により移設しました。				
課題等	コミュニティバスの停留所については、住宅の前に設置されることも少なくないため、隣地者の承諾等が重要となります。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	本年度においては、いわゆるコロナ禍により利用者が減少しました。しかしながら、事業計画に基づき例年通りの運行を行ったことから、一定の環境配慮がなされたと考えます。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。引き続き、情報発信に努め利用を促進することを期待します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調書				事業コード	2 - 2 - c
担当部	経済環境部	担当課	環境課（環境政策課）	担当係	環境共生係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
騒音に関する相談件数			22件 (H30/2018)	22件	( R11/2029 )
計画体系上の位置付け	基本方針	2 健やかに暮らせる安全・安心な環境を確保します			
	施策の方針	2-2 生活環境を守ります			
	関連する目標指標	公害・環境に関する相談件数			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への進捗見込		予算額	
事業所から発せられる騒音苦情相談に伴う相談者への聞き取り及び事業所への指導		16件		0 千円	
		進捗率： - %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・生活環境の保全			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・騒音に関する公害苦情			・迅速な現場対応 ・騒音基準等の丁寧な説明		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	市民からの相談を詳細に聞き取り、騒音規制法に基づき現場対応を行いました。また、適切に届出がされているかの確認及び、騒音規制法に基づく指導を実施しました。			17件	
				進捗率： - %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	法改正による届出様式の押印欄の廃止に伴い、事務の簡素化を図りました。				
課題等	騒音規制法に基づく届出書の提出遅延が少なからず見受けられたため、事業所に対する届出期限の周知を検討していきたいと思います。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	コロナ禍で在宅時間が増えたことにより、想定より相談件数が増えたと考えられるが、迅速な現場対応及び騒音基準等の丁寧な説明を行い、改善に努めたため、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。騒音に関する苦情を減らすため、引き続き事業所への指導を期待します。			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます		1 都市環境を整備します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
これからも海老名市に住みたいか (市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)		— (実施せず)	
90.3% (令和元年度)	90.3% (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
道路整備への満足度 (市政アンケート：幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)	3	3	市政アンケートを行っていないため数値としての結果は出ていないが、狭小道路の拡幅や砂利道の舗装を行い、排気ガスや砂埃の抑制を図り、近隣住民の住環境の向上を図りました。
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数	4	4	まちの美観向上等により住み続けたいまちづくりに寄与できると考えています。
えびなクリーン作戦参加者累計数	1	1	まちの美観と共に、地域コミュニティの確立も図られ、住み続けたいまちづくりに寄与できると考えています。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>一つの取組みが複数の事業に関与していても、達成に寄与するものであるならば調書に記載していただきたいです。</p> <p>指標に設定した取組みが実施できないことが判明した時点で、可能であれば、指標を見直すことも検討してはいかがでしょうか。</p> <p>個別の指標については、中止となった「えびなクリーン作戦」以外の道路整備や美化推進員による活動は概ね目標通り遂行されているので、引き続き推進されることが望まれます。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 - 1 - a
担当部	まちづくり部	担当課	道路整備課	担当係	幹線道路係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
道路整備への満足度(市政アンケート:幹線・生活道路の整備に満足・やや満足と回答した人の割合)			34.3%(R1/2019)	35.1%	(R11/2029)
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します			
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート:ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への進捗見込		予算額	
道路環境の整備によって、渋滞の解消と、近隣住民の住環境の向上を図る。		34.4%		1,833,000 千円	
		進捗率: 12.5 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞解消による排気ガスの抑制</li> <li>・路面舗装による粉塵、砂埃の抑制</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路工事による廃棄物の増加</li> </ul>		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路工事に関する苦情</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な工事の実施</li> <li>・工事内容の丁寧な説明</li> </ul>		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	幹線・準幹線道路および生活道路の整備を行い、渋滞の解消による排気ガスの抑制、路面舗装による粉塵・砂埃の抑制、近隣住民の住環境の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事件数 16件</li> <li>・工事総延長 1859m</li> </ul>			 進捗率: 12.5 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	新型コロナウイルスの影響で、事業説明会の延期や規模縮小を図りました。				
課題等	競合する工事の遅れ等が原因で工期が当初より伸びてしまう事態が起きてしまったため、近隣住民の不満や工事による渋滞の長期化につながってしまった恐れがあります。今後の課題として、関係各所とより精細に調整を行い、工期の短縮を目指します。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	当初予定していた整備工事は、予算内でおおむね実施することができました。狭小道路の拡幅、砂利道の舗装を行ったことで、渋滞の解消による排気ガスの抑制、粉塵・砂埃の抑制につながり、近隣住民の住環境の向上が図れました。また、新型コロナウイルスによる不測の事態に備え、工事業者に感染症対策を徹底させました。今後も、現状に留まることなく、効果的な道路ネットワークを構築し、自動車等の流入抑制、交通の分散化等による排気ガスの抑制を図っていきます。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。当初予定していた整備工事が概ね実施されたことで、渋滞の解消と、近隣住民の住環境の向上が図れたと評価します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 - 1 - b	
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	資源循環係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
美化推進員のポイ捨て、路上喫煙巡回日数				292日 (H30/2018)	292日 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます				
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します				
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
美化推進員による公共的な場所(歩道など)の清掃活動および巡回、注意啓発			293日		1,963 千円	
			進捗率：100.3%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・生活環境の保全 ・景観の向上			-			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ポイ捨て等に関する苦情			・巡回時の周知啓発の徹底			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	予定通りの日程で巡回を行った。 巡回指導により指導件数が減少した。 令和2年度合計：38件 令和元年度合計：126件				293日	
					進捗率：100%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	特になし。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	計画通りの巡回を行うことができると共に、指導件数も減少し、制度が順次浸透してきたと判断したため。				
内部環境評価	4：計画を上回る環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 計画通りに巡回を実施したことにより指導件数が減少し、当初の想定以上に生活環境の保全や景観の向上が図られたと評価します。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 - 1 - c	
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	資源循環係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
えびなクリーン作戦参加者累計数				4,800人 (R1/2019)	5,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます				
	施策の方針	3-1 都市環境を整備します				
	関連する目標指標	これからも海老名市に住みたいか(市政アンケート：ずっと住みたい、できれば住み続けたいと回答した人の割合)				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
年に一度、一斉美化活動を主催する			4,800人 (H31までの累計。今年度中止)		— 千円	
			進捗率：96%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			—			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い事業中止				中止	
					進捗率：0%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	コロナ禍において、どのように事業を実施すべきかを検討する必要がある。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	1：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い事業を中止したため。				
内部環境評価	1：ほとんど計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価の内容を支持します。今後はコロナ禍でも実施可能な代替案を検討していただき、事業の実施を期待します。				

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		2 農業地を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
農地面積		519ha	
526ha (平成30年度)	526ha (令和11年度)		
個別指標	担当部課評価	内部評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
農作業受委託面積	3	3	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の減少に寄与した。
市民農園利用者数	3	3	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の減少に寄与した。
農業体験イベント参加者数	3	3	中止となったイベントはあったが、作物の定植・栽培管理は行っていたため、農地の荒廃の抑制に寄与した。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>個別指標で目標実績に上下がありますが、農業地を守る施策の方針の目標が維持されていると考えます。  「農作業受委託面積」で、受委託面積の現状値を下回らないように取り組んでいる実施項目や、それがどの程度有効だったのかをなるべく具体的に調書に記載していただきたいです。  「市民農園利用者数」について、「HPの定期的見直し」「空き状況の更新頻度の増加」等、今後も継続的に取組みをお願いします。  また、「課題等」に記載のある「利用者が高齢者でHPでは限界がある」ことへの改善策も重要なことであるため、積極的に検討を進めていただくことが期待されます。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調書				事業コード	3 - 2 - a	
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
農作業受委託面積				32ha (H30/2018)	32ha (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます				
	施策の方針	3-2 農業地を守ります				
	関連する目標指標	農地面積				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
市内営農組合による水稲作における稲刈り等の受託作業			32ha		1382 千円	
			進捗率： 100 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・ 農地の荒廃の抑制			・ 作業に伴う廃棄物の排出 ・ 車両の使用による排気ガスの排出			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ 農作業受委託に関する相談			・ 円滑な農作業受委託に向けた指導			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	中部営農組合、南部営農組合及び南部農業拠点施設による稲刈り、乾燥糶摺り等の水稲作作業の受託。				32ha	
					進捗率： 100 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	南部ライスセンターは稼働から8年が経過し、機械の破損や消耗が激しくなり保守点検や多くの修理費用が必要となっている。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	現時点で、目標数値を達成できていないが、委託事業は順調に進んでいる。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。委託事業は順調に進んでいるが、南部ライスセンターの機械の破損等が発生しているとのことなので、管理を徹底し施設環境維持に努めていただきたい。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 2 — b	
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
市民農園利用者数				479人 (R1/2019)	580人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます				
	施策の方針	3-2 農業地を守ります				
	関連する目標指標	農地面積				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
市民に農地や農作業（栽培）環境の大切さを知ってもらうことで、農業への理解を深めてもらうために市民農園を設置します。			495人		4,724 千円	
			進捗率： 85 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・ 遊休農地、耕作放棄地の減少			・ 市民農園整備にかかる廃棄物の増加			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ 市民農園利用者のマナー違反による苦情			・ 迅速な現場対応			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	雑草繁茂・区画外利用などの苦情に対し、速やかな現場確認、関係者への通知、連絡及び掲示物による利用者への周知を行った。				499人	
					進捗率：100.8 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	ホームページの掲載内容の定期的な見直し、空き状況の更新頻度の増加により利用者の増加を図った。					
課題等	利用者の多くが高齢者であり、ホームページによる情報提供には限界があるため、どうしても紙での通知や掲示物が増えてしまう。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	事業の性質上、紙媒体の通知・掲示物の量は横ばいであったが、一方ホームページの内容・更新頻度を充実させるなどした環境に配慮した手法で利用率増加を図っていった。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。政策方針の維持のためには、様々な困難も生まれるが、状況の変化に対し応用を利かせ対応できている。明確な課題も挙げられているので、改善を図られるよう今後も取り組んでいただきたい。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 - 2 - c
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
農業体験イベント参加者数			2,700人 (R1/2019)	3,000人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-2 農業地を守ります			
	関連する目標指標	農地面積			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額
トマト、梨等のもぎ取り及びラッカセイ、さつまいも等の掘り取りを実施します。			2,400人		598 千円
			進捗率： 80 %		
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・農業に対する理解の促進 ・地域の農業従事者・農作物に対する理解の促進			-		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・イベント実施に関する問い合わせ			・丁寧なイベント内容の周知		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要					目標値進捗実績
令和2年度	実績				650人
	・ラッカセイの掘り取り 令和2年9月27日(日)9:00~11:00 中新田地区 300人参加				進捗率： 21.7 %
	・さつまいもの掘り取り 令和2年10月18日(日)9:00~11:30 大谷地区 350人参加				
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用や一定間隔を保つよう参加者へ呼びかけ、開始前に検温及び手指消毒、連絡先の確認(任意)を行った。				
課題等	上記変更を行い、特に大きな混乱は生じなかった。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	「トマトのもぎ取り」及び「梨のもぎ取り」は、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、実施は難しいと判断し中止したが、実施に向けて定植・栽培管理を行っていた。			
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部環境評価の内容を支持します。 感染症の感染拡大状況の中、限られた時間で政策方針に基づき事業を進めている。実施にあたり参加者への配慮も徹底されている。今後も、未来への架け橋となるよう、継続して事業に取り組んでいただきたい。			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます		3 地域資源を守ります	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値 (年度))	(目標値 (年度))		
自然景観への満足度 (環境アンケート：相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)		— (実施せず)	
74.9% (平成30年度)	75.0% (令和11年度)		
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数	3	3	今後も魅力的な展示などを企画していくことで来館者数が増加していると考えています。
歴史関連イベント・講座参加者数	3	3	電子申込を使用することで、比較的若年者層でも参加しやすくなったと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。		
判断理由及び評価内容			
<p>「郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数」、「歴史関連イベント・講座参加者数」の両方に関して、来館者数、参加者数を増やすための施策として、文化財系のホームページ「文化財探究舎」の充実が必要であると考えます。</p> <p>例えば、過去開催のイベントについても海老名の歴史を知る上で必要な情報と思われるため、過去のイベントをホームページ閲覧者が簡単に見られるような改善を検討いただきたいです。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 3 — a
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
郷土資料館・歴史資料収蔵館来館者数			11,176人 (H30/2018)	11,500人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしき”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります			
	関連する目標指標	自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要		目標値への進捗見込		予算額	
温故館では企画展等を開催する。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料を増やし、公開する。 ※但し新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、5月は休館。		5200人		16,384 千円	
		進捗率: 45%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・市の歴史に関する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・施設運営に関する問い合わせ・苦情			・適切な施設運営の実施		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	温故館では、企画展「えびなの観音さま」や相模国分寺跡指定100周年記念事業の展示を実施。民具の動画配信も行った。 歴史資料収蔵館では歴史資料を整理し閲覧可能資料の公開に向けた業務を実施。			4,771人	
				進捗率: 41%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	相模国分寺跡指定100周年記念事業の企画展の開催時期を変更した。 東京オリンピック関連展示は中止した。 次の期間を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館とした。 ①R2. 4. 1～5. 31 ②R3. 1. 11～3. 21				
課題等	除菌・消毒に伴う消毒液、ペーパータオルの利用が増えている。 展示内容や資料公開について、WEB上で行うなどの工夫についても検討を要する。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	コロナ禍による休館等の影響により、進捗見込みには達しなかったが、中でも企画展の開催等を実施できたことを踏まえ、概ね計画通りの環境配慮を実施できたと評価します。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。来館者だけでなく、市民等への周知のため、新型コロナウイルス感染症に伴う課題について、ウェブ公開に向けた取り組みに期待します。			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	3 — 3 — b
担当部	教育部	担当課	教育総務課	担当係	文化財係
個別指標の内容			現状値(年度)	目標値(目標年度)	
歴史関連イベント・講座参加者数			319人 (H30/2018)	456人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	3 “えびならしさ”を守り、育み、将来に引き継ぎます			
	施策の方針	3-3 地域資源を守ります			
	関連する目標指標	自然景観への満足度(環境アンケート:相模川や農地などの自然景観が良い、やや良いと回答した人の割合)			
令和2年度事務事業 環境管理計画					
主な取組の概要			目標値への進捗見込	予算額	
文化財講演会を開催する。 相模国分寺跡史跡指定100周年記念事業を実施する。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験講座等の事業は中止。			150人 進捗率: 32%	730 千円	
前年度事務事業の実施により発見した課題等					
令和2年度事務事業に係る環境影響					
有益影響			有害影響		
・市の歴史に関する理解の促進			—		
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応		
・イベント実施に関する問い合わせ			・丁寧なイベント内容の周知		
令和2年度事務事業 実施結果					
主な取組結果の概要				目標値進捗実績	
令和2年度	文化財講演会及び文化財ガイドを実施。また、奈良時代の相模国分寺を復元したCG動画を公開した。 相模国分寺跡指定100周年記念講演会・VR体験等は中止とした。			167人 進捗率: 37%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等					
変更点	相模国分寺跡指定100周年記念事業の一部を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。なお、文化財講演会は電子申請も可能とした。				
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、一部事業の中止をせざる得なかった。 日々状況が変化する中で、市民等不特定多数が集まる事業の実施方法・開催方法について検討が必要。				
令和2年度事務事業 環境評価					
評価区分	評価	判断理由及び内容			
担当部課 環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルスの影響はあったものの、可能な範囲で様々な取組みを行い、進捗見込みをやや上回る実績を上げることができたため、概ね計画通り実施できたと評価します。			
内部環境評価	3:概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。 引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらの遂行を期待します。			

令和2年度外部評価シート

基本方針		施策の方針	
4 みんなでえびなの環境を考え、行動します		1 環境を考え、行動します	
目標指標		令和2年度実績	
(現状値(年度))	(目標値(年度))	— (実施せず)	
43.5% (平成30年度)	48.0% (令和11年度)		
環境への関心度(環境アンケート:以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)			
個別指標	担当 部課 評価	内部 評価	目標指標進捗に関する所管課コメント
環境関連情報発信回数	2	2	環境に関する情報発信を通じて、環境への関心度を高められました。
啓発・出前講座参加者数	2	2	市民等への出前講座の実施により、環境への関心度が高められました。
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数	3	3	きれいなまちづくり事業を実施することで、まちをきれいすると共に、地域環境へも目を向ける機会に寄与したと考えています。
海老名市地域緑化事業への登録団体数	3	3	個別指標の目標には達していませんが、地域のみどりに目を向ける機会に寄与したと考えます。
外部評価			
3	概ね計画通りの環境配慮を実施できた。 (アンケートが未実施のため施策に影響しているがその他は概ね計画通り)		
判断理由及び評価内容			
<p>アンケートが未実施のため施策の進行への影響は否めませんが、その他は概ね計画通り取組みがなされており、全体的にはコロナ禍の中、それぞれの項目で工夫を凝らして活動されていることを評価できます。ただし、コロナ禍を踏まえて、今後はWebを使った双方向コミュニケーションなどの活用など、コロナによる影響を考慮した取組みを検討すべきだと考えます。</p> <p>補助金の交付においても、リアルに実施するものに交付するだけでなく、仕組づくり(啓蒙資料作成、Webの仕組づくりなど)に対する支援制度も検討していただきたいです。</p>			

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 - 1 - a	
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	環境共生係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
環境関連情報発信回数				5回 (H30/2018)	8回 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します				
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します				
	関連する目標指標	環境への関心度 (環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
<ul style="list-style-type: none"> <li>光化学スモッグ及びアイドリングストップ等の環境関連情報を広報えびな等にて発信</li> <li>環境啓発イベントを通じた環境情報の発信</li> </ul>			6回		- 千円	
			進捗率：33.3%			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題に対する理解の促進</li> </ul>			-			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境情報に関する問い合わせ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧な環境情報周知の徹底</li> </ul>			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報えびなで光化学スモッグによる注意喚起やアイドリングストップの励行に関する記事を掲載しました。</li> </ul>				3回	
					進捗率： 0 %	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	これまで環境講演会として実施していた啓発事業を県主催イベント（みずきフェスタ）と連携した取組みへと見直しました（事業自体はイベント中止のため未実施）					
課題等	コロナウイルスの影響によりイベントが中止となり、十分な環境啓発ができなかったことから、集客型のイベントから転換した啓発手法を検討する必要があります。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	広報えびなによる環境情報の提供は行いましたが、イベントによる周知ができなかったため、一部計画通りの環境配慮を実施できなかったと判断します。				
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。コロナ禍において、実施できなかった点は、コロナ禍でも可能な代替え案等を検討していただき、今後の事業の実施を期待します。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 - 1 - b	
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	資源循環係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
啓発・出前講座参加者数				645人 (H30/2018)	710人 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します				
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します				
	関連する目標指標	環境への関心度 (環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
小学校や事業所、集合住宅へ赴き、ごみの分別方法等の出前講座を行う			不明		— 千円	
			進捗率： %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・ 環境問題に対する理解の促進			—			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ 講座等実施に関する問い合わせ			・ 丁寧な講座等内容の周知			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	要望に応じて2回の出前講座を開催した。 7月：中新田連合自治会 8月：今泉小学校				151名	
					進捗率：21.3%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、出前講座のやり方等についても検討が必要となる。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、出前講座の依頼等が少なく、また出前講座への出席者も少ない傾向にあった。				
内部環境評価	2：一部計画通りの環境配慮を実施できなかった。	担当部課環境評価を支持します。 コロナ禍において、実施できなかった点は、コロナ禍でも可能な代替え案等を検討していただき、今後の事業の実施を期待します。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 - 1 - c	
担当部	経済環境部	担当課	環境課	担当係	資源循環係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市きれいなまちづくり事業への登録団体数				56団体 (H29/2017)	56団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します				
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します				
	関連する目標指標	環境への関心度 (環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合)				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
不特定多数が使用する公共用地等の美化活動に奨励金を交付する			55団体 進捗率：98.2%		1,980 千円	
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・生活環境の保全 ・まちの美化意識の向上			-			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・実施方法に関する相談・要望			・綿密な事前調整			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	53団体がきれいなまちづくり事業の団体登録を行った。				53団体 進捗率：94.6%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	特になし。					
課題等	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、団体登録と共にきれいなまちづくり事業実施を控える団体が増加した。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課 環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、団体登録及びきれいなまちづくり事業実施が減少している現状にあるが、事業に取り組んだ団体については通常と変わらず、市の美観向上に寄与してくれていた。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	地域等で、活動している団体を見かけると周りの方たちの温かな目線が配られているのを目にします。今後も協力団体へ感謝しつつ、続けていただけるような取り組み、対応をお願いします。				

令和2年度 環境管理計画・環境評価調査				事業コード	4 - 1 - d	
担当部	まちづくり部	担当課	住宅公園課（住宅まちづくり課）	担当係	まちづくり支援係	
個別指標の内容				現状値(年度)	目標値(目標年度)	
海老名市地域緑化事業への登録団体数				19団体 (R1/2019)	19団体 (R11/2029)	
計画体系上の位置付け	基本方針	4 みんなでえびなの環境を考え、行動します				
	施策の方針	4-1 環境を考え、行動します				
	関連する目標指標	環境への関心度（環境アンケート：以前と比べて関心度合いが高くなったと回答した人の割合）				
令和2年度事務事業 環境管理計画						
主な取組の概要			目標値への進捗見込		予算額	
市内における地域緑化の推進のため、地域の緑化事業を行う団体が実施する緑地等整備事業及び緑地等管理事業に要する経費に対して補助金の交付を実施			18団体		630 千円	
			進捗率： 94.7 %			
前年度事務事業の実施により発見した課題等						
令和2年度事務事業に係る環境影響						
有益影響			有害影響			
・ 緑を保全・育成する意識の向上			-			
想定されるコミュニケーション			コミュニケーションへの対応			
・ 緑化手法に関する問い合わせ			・ 適切な緑化手法の周知			
令和2年度事務事業 実施結果						
主な取組結果の概要					目標値進捗実績	
令和2年度	補助金交付実績 16件 457,000円				16/18団体	
					進捗率： 88%	
令和2年度の事務事業における変更点及び実施により発見した課題等						
変更点	コロナ禍であるため、対面でのやり取りをなるべく避け、電話・郵送を活用した。					
課題等	コロナ禍であるため、人数を集めて地域緑化を行うことが難しい。					
令和2年度事務事業 環境評価						
評価区分	評価	判断理由及び内容				
担当部課環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	コロナ禍のため団体活動の実施が難しい中、目標値に近い16団体の方々に緑化活動を実施していただいたため。				
内部環境評価	3：概ね計画通りの環境配慮を実施できた。	担当部課環境評価の内容を支持します。コロナ禍のため団体活動の実施が難しい中、目標値に近い16団体の方々に緑化活動を実施していただいたことを評価します。				

## 自然緑地保存樹木等 樹木解除

指定番号	申請所在地番	樹種	樹高	幹周	枝張長	枝葉面積
265	本郷2757-1	ソメイシ	13m	2.0m	12.0m	113㎡

【解除理由】 樹木診断をしたところ、樹木の半分が枯死しており、枯死した部分を伐採すると残りの半分も自重で折れてしまうと伝えられたため、解除したいもの。  
※当初指定：平成30年2月13日



【撮影方向①】



【撮影方向②】

